六月一日午前八時三十五分

内務卿　　　山口縣令

今晩笹波ニテ賊ヨリ砲発セリ巡査戦フ
賊ハ四五十人ナラントト云フ馬関ヨリ一中隊
只今発ス急ギ繰込ミタリ

太政官

国立国会図書館

国立国会図書館　伊藤博文関係文書(その1)書類の部 265

六月十日午前十時四十分発 午後五時二十分着

大久保内務卿 宮口 山口県令

今般巡査ノ戦大勝利賊スナイドル銃

十挺計リ棄テ走ル今世波瀬ノ要衝口ヲ占シ

扼シ後詰シ待ト出先警部ヨリ報告アリ

六日午後六時五十五分着

三條大臣　黒田参議

本日熊本発新撰旅団陸軍大佐ヨリノ電報ニ昨日
押備ナテルカクリ道ノゲボニ道並道ニ三段進撃
賊ノ塁壁ヲ抜リ数多ノ賊ヲ追撃大勝利我兵南ニ六
名中ニ及ヤカタ迫進軍賊砦ヲ棄テ走ル兵器
弾薬ヲ分取及ヒ生捕アリ人吉ニ接スル三里
他ノ賊ハ薩量ニ進軍セリ我軍番目ヲ名
印紀年武名編ケリ本日モ進撃ニ様下

215830
昭和5年10月18日

六月一日午後六時五十五分発

大久保

伊藤　　　　山口県令

本日（イツセウダチ）ト申シテ賊ノ巨魁ノ者二人町田

村ヨリ八嵜出社明朱貝ヲ打留タリ被殺乱入ノ趣

人数多ケレハ直付入ル直撰ヲ乞ヒ来レリ兵隊ヲ

至急出兵

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

左之通電報有之ニ付及御報告候也

六月二日　西郷中将

大久保参議殿

伊藤参議殿

西郷中将　山縣参軍

三十日来連戦諸兵奮励今日午前
九時人吉城ヲ陥レ夜地獄山迄諸隊登
敵限川ヲ堺トシ今夜ハ厳守スル積ナリト
午後六時人吉在陣山田少将ヨリ報告アリ

六月二日

215830
6
昭和47年10月18日

大正政教

大正政教

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

215830
7
昭和6年10月8日

右之通電報有之ニ付不取敢通報迄也

六月十二日　西郷中将

大久保

伊藤

西郷中将　　谷少佐

山ノ井街少佐ヨリ左之電報アリ

昨十一時蕃地ヘ進入兵隊ナシ総轄

影多揮傳セリ紛会之敵之蕃ヘ引

タリ先ツ安心アレ

六月二日午後二時四十分発
十一時二十分着

大久保内務卿殿　山口県令
伊藤参議殿

巡査隊長中方明朝萩表ニ赴カセガ坂ヘ出張ニ及
ヒ至ル明朝四時巡査一同進ミ萩ヲ取渡
スルトノ指揮アリ此段陸軍ヘモ御通シニ[illegible]

六月二日午後六時五十分発

大久保内務卿

伊藤参議

山口県 木梨大書記官

昨日午前十一時頃一升谷ニテ賊魁所因ヲ獲ヘ引續キ明木辺賊徒ヲ追捕同夜十一時頃巡査ヲ引纏メ直グニ萩地ニ至ル途中警部ヨリ萩市中ニ至ルト捕縛スル賊数名即今萩地平穏人民安堵ノ思ヒヲ為ス旨出先ヨリ報出セリ私モ直グニ萩ヘ出張人心鎮撫方着手セリ此段回報ス

215830
昭和6年10月18日
国立国会図書館　伊藤博文関係文書(その1)書類の部 265

215630
10
昭和16年1月9日

大政翼賛会文書

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

215830
11

隣ニ国境セシモ其若狭境ニ於テカリ
山奥村ハ村境ヨリ浅ハ野伊東ノ棒
名前ニ生ジ及ビ墾花塚ハ有田方任ニ
生活シ山奥村ノ村民ハ深草ノ家族住ス
ヘキ者ナシ故ニ明伊東大明神ノ祠
以国在ル為ニ之レヲ取上ケタリ能ク識
此伊東ノ維持ノ山林ヲ続ク新ヒ村カラ如
田畑ヲ授ケ取上為ル又浅ク名ル殊ニ之
ツラ精注意上ニテ明ナリ故ニ注意シ
其里ノ名ニ至リ又ダリ且武田有限ニ

此ハ浅野境ニ加入スルヿヲ望ム

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

六月三日午前九時五十分

大隈参議　　伊藤

河野幹事

山口縣ヘハ今日屋原書記官外二名

船便ニテ萩油出致スヘシ時宜ニ寄リ

下官モ跡ヨリ出張致スヘク候

215830
11
昭和6年10月15日

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

215830
12
昭和26年10月1日

陸軍暗号ニ而電報有之候處翻訳之上別紙之通

六月三日午後一時三十分発

大久保参議　大坂

伊藤参議　西四

昨日徳之島隊内ヨリ帰リワクミマフリコグン寄
ガニ至ル迄多少ノ戦アリ道路難険續キツキモ戦死負傷ト
ナリ昨日出張ス大分遠ク捕ゲシニ戦陣ヲ大ナル者ツノ
蕃之報知甚豊富地人端出モ難キニ付至急
当地ヨリ小兵進出之候因人今中止實ニ危急
ニ場合故ニ当断ヲ以テ撰撃隊戦中隊ヲ
出兵人数拾名兵隊ヲ以テ出兵上海ニ下高砂

国立国会図書館　伊藤博文関係文書(その1)書類の部 265

日清ノ指紛アリ其キツキハホスキノ侯下君ハル

六月三日午前七時五十分発

内務卿宛　　熊本縣権令

去ル百年後二時官軍ノ者ニ村入市街放火
ニ従ヒ敵ノ降伏戸ヲ閉テ久シク日向路加久藤ヲ越テ
逃レ名ハ由ノ所モ八代口ノ指紛之レアリ以テ上申ス

215830
13
昭和26年10月8日

国立国会図書館　伊藤博文関係文書(その1)書類の部 265

215830
14
昭和26年10月1日

六月三日午前九時五十五分発

三原太田大佐候　東京　黒田参議

堀江大佐ノ報知ニ昨廿一日ニコリケ豆進軍
又本日七時賊兵ト合ヒ進軍賊ヲ追
撃シ午前九時人吉ニ進入シ市街ヲ放
火シ川ヲ隔テ塁ヲ保テリ我死四
兵死傷五名有之西郷中将ヘ報知アレ

明治十年送達紙

スベテ電信ヲ頼ミ出ルモノハ通信規則ノ通リ心得ベキ事

報	發局					着局			技術
官報	第二十九號	日本橋局	二月十日	午後七時五十五分	字數百二十九字	第　號	東京局	二月十日	

届 東京 陸軍輜重局

出 東京 山縣

カキトメ

ダイニゴウ。ハクロジキ
コツズタ。サホルセマル。
ソロビウラ。ホラニロヨ
ナラル。レナスノエメ。ム
テテヘワメ。ケラシサメ。
ルルシジナビド。テマ。タ
ラニマラルセマロカス。
ドムツウヨウ。クロト。セ
ドムツウヨウ。ビマセア
コトテコ。ニロレセダド

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

明治十年送達紙

スベテ電信ヲ頼ミ出ルモノハ通信規則ノ通リ心得ベキ事

報	官
發局	第三十七號
	熊本局
	二月十日
	午十二時二十分
	字數八十八字
着局	第　號
	東京局
	二月十日
技術	

届 熊本鎮台 タニセウシヤウ

カキトメ

ダイニゴウ。テスウノコ
ロレ。ス子トニムロレ。ド
エムルセカ。ヲナ子。テタ
トツヒ。マナスマ゛。セヲウ
セミラムミ。エムハアテ
キビト。テマヲナトマボ。
ホムトロフコキミサメ。
ケラダラ。ホエム。モムク
ナハビト。

出 東京 山縣陸軍卿

明治　年送達紙

スベテ電信ヲ頼ミ出ルモノハ通信規則ノ通リ心得ベキ事

發局						着局					技術
報號	第	局	月	日	午時分	竄字	第	號	局	月日	

届

エムトウラムヒ。ササナノソムヒ。サウムミワスニワキビト

出

215830
14
昭和26年10月18日

六月三日午前九時五十五分発

熊本山縣参軍

東京 黒田参議

堀江大佐ノ報知ニ昨卅一日ニコリケ正進軍
又本日七時諸兵ト合シ進軍賊ヲ追
撃午前九時人吉ニ進入シ市街ヲ放
火シ川ヲ隔テ嶮ヲ保テリ我佐田
兵死傷五名有之西江中佐ノ報
知アレ

六月三日午前十一時十五分発

山口県令　関口隆吉

大久保内務卿

昨日午後四時四十分萩地ヘ着当分滞留時出張
所ニ設ケ置キ事務ヲ取扱フ萩地諸区之部
処置裁判所賊徒取扱所区戸長以下別条無之
但処置之内十二名丈ハ未タ知レ兼ル者アリ現在
糾弾中旧萩藩士共中議処置之内別段ニ分
ハ捨名引取相成候名丈出張之候ハ迄之旧届
及フ可申致上申候也

215830
昭和 年 月 日

215830
16
昭和　年10月　日

六月三日午前十一時十五分発

伊藤参議宛　林検事

萩地ノ賊ハ當縣巡査ニテ悉ク打平ラケ残リハ捕縛シタレハ少シモ御掛念ニ成間敷此旨司法卿ヘ御通知ヲ願フ

六月四日午後三時四十分発

参謀　手儀　西郷中将

伊藤殿

本日カミコバ口攻撃ニ於テハ大冠山及ヒチヨウ
サヘモンガマハ速ニ略取ニ坪山戦闘午ノ音中モ
発シタル国見ヲ援ケ坪山ヲ略取ニ續イテクラミ山
及ヒ宝[illegible]ヲモ乗リ取タリ然ルニ斜面ハ我防禦
ニ地形アシキ所一ツ有之ノ谷ニヨリ行理ニ向ツテ兎
敵ズ防禦線ヲ定ム此日賊ノスナイドル及ヒエンピ
ール銃五挺ヲ分捕ル賊又死骸ヲ捨テ去ル我
軍死傷罪姓名賊ノ踪跡分ラスト此旨ニ探
三浦少将報告セリロ右ハ口ハ[illegible]山為[illegible]軍[illegible]

六月四日午後十二時十五分発

大久保

伊藤　　　　西郷

山縣参軍ノ名ヲ以テ指揮アリ職務キニマセイノ年リ（貴為清）
半隊長共四人為ノ官軍ニ降服ニ来居ル
桐野ハ四國ニ渡リシト云フ信スヘキ説ト考ル
ニ付不取敢申進ス

215830
昭和 年 月 日

大正 年 月 日 寄贈

六月廿日午前十一時五十五分発

大久保内務卿殿　熊本縣權令

去ル二日ノ報人吉ノ士族五十名降参セリ同所亘相踏リ二分五厘ノ賊ヨリ五百二分五厘ノ兇相セリ麦藤法池上九州商ヲ入獄セシメ要ナ軍ノ入四ヲ救免セシ内情アリ

215830
20
昭和　年10月15日

六月五日午後二時四十分発

大久保
伊殿

西郷中将

人吉落城ノ後賊将ハ大口口ハ旧ノ如ク厳口
ハヨコバハ加ニ引退キ人吉ヨリ凡我二里ノ位ノ雲
雲ニ堡塁ヲ築キ居ル趣尤降方ニ指揮シ
当シ所昔ハ出テ山野ニ軍ヲ分シ拔ナリ

215830
22
昭和2 年10月1 日

六月廿四日午後七時廿分發

三條太政大臣

長崎知事

薩藩桂ナル者ノ使ヲ捕縛セシナレトモ未タ本人ヲ責ムヘキ證據ヲ得ス知事君ニ於テ所存ヲ事ニ害アリ報之レヲ捕縛スレハ必ス確證ヲ得ヘキ迄ニテ隠密探偵中ナリ篤ト御承知被下度ク

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

六月五日午後十時五分発

山口縣令

伊藤参議殿　　　　　関口

ツクダサイチツ萩ヘ着ス兼而御通達ニツ
領セリ本探ハ明日山口ヘ着スヘシツクダト
本探ニ召寄セ別ナルヤ否同一ニ確ナラバ
本探ハ兼而ツクダハ本探ヘ認識シテ上
着京スヘシト御指図有リタシツクダ当任
ハチト心元ナシ

215830

六月廿六日午後十時五分発

大久保内務卿殿
伊藤参議殿

山口縣令
関口

萩ヨリ今帰ル昨日来ル萩地之賊四十名余ニ捕縛ス市中至テ静謐偏ニ御安心アリタシ

帝國圖書館藏

215830
昭和26年10月18日

六月六日午前十時二十分発　十一時二十五分着

大久保
伊藤

大坂　西郷

先キ淡路ヘ兵隊差向ケノ事ニ付山縣ヘ
問合セシ処右之通リ電報アリ御回送申
申候淡路ヘハ第二旅團ノ内ヨリ
二大隊ヲ差向ケ出張セシメタリ且又
今夜半ニハ大分ヘ着スベシ第旅團ヲ出張
ノ事ニハ船都合出来次第出立ノ筈
ナリ其内鐵甲ヲ廻シキタル時ハ一先ツ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

出張ヲ見合ス事モ有ヘシ

六月六日午前十一時四十分発

大久保

伊藤　　　　　西郷

下ノ関ヲ本日十二時四十分之滊車ニテ
上京致スヘキ處今朝平安丸着
北村中佐帰坂ニ付面會之上ツギノ
滊車江上京ス尤滋野中佐ハ
十二時四十分ノ滊車ニテ上京
致スニ付親密御談合有之度シ又
平安丸ニハ縣廳ノ銃器弾薬ヲ
積来レリ

215830
昭和 年 月 日

外交官

外交官

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

於小倉ヨリノ報知

六月六日午後六時鎮台発

大久保内務卿　川路少将

去ル五日未明賊ノ所為ニ丹ニ兎ヶ嶽

ヲ占メタリ生擒四名大砲弾薬百

餘発小銃弾薬十七箱其他器械

色々ヲ取リ午后賊又襲来激シク

襲撃ス我兵兎ヶ嶽ヲ固守シテ

不却賊ハ午時隊ナリ

215830
2P
昭和27年10月8日

0

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

215830
30
昭和47年10月18日

伊藤博文文書

大蔵省

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

件ト云フ

六月七日　山縣參軍

大久保參議殿
伊藤參議殿
西郷中将殿

215830
21
昭和　年10月8日

六月七日午后七時熊本発

内務省　水俣　川路

今六日未明曉霧ニ乗シ薩州松尾
上ニ屯スル賊塁ヲ襲ヒ悉ク之レヲ
抜ク生擒三名長ガ四寸半之大
砲一門小銃三十挺分捕メリ

六月七日午後[illegible]時四十五分

東京　書記官

書記官

大鳥公使及ヒ岩村書記官外二名昨日午後四時出帆ノ名護屋丸ニ乗込ミ此地ヲ出発ス此段御通知ニ及ブ

215830
昭和47年10月18日

六月八日午前八時九十分発

大久保参議

伊藤参議

萩地平岩ヨリノ電報ニ豊後豊浦ノ旧知事當参ニ出張ナレバ萬事都合宜ヨシ此段伺フ

山縣参議

品川大参事

八時ニ山口ニモ響キ人心恟々タリ山口

砲聲ノ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

215830
昭和　年　月　日

六月廿八日午前八時五十五分

伊藤参議　山口県　佃　基清

木梨昨日来ル地方官モ多端[redacted]ヘ
着手時明カス併シ壮兵ハ沢山ニテ多
ノテツツキナル注意スベシ御安心アリ
タク夫ニ追而申ス

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

215830
昭和24年10月18日

大政官

大政官

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

六月八日午后十二時二十五分発 一時廿三分来

大久保

伊藤 両参議 西郷中将

今般発艦ノ艦ハ廻漕ヲ以テ厦門ニ向ニ付テハ

日字如為當方来事ヲ以発差相成可ハ

如何

六月九日午後一時　大分発

大久保内務卿　　石井中録権大書記官
　　　　　　　　香川真権令

八日午前六時ヨリ諸口ヨリ進撃何レモ臼杵(ウスキ)ヨリ
壱里計リノ地ニテ開戦我軍大ニ苦戦
兵糧ハ臼杵ヨリ

215830
37
昭和32年10月18日

215830
昭和　年10月18日

六月四日午後三時三十分発

三條太政大臣　岩倉右大臣

新任佛國全権公使ドヂヲフロヲヲギ
今九日同國軍艦ニ乗リ込ミ横濱出帆神戸へ
赴キ夫ヨリ直ニ西京ヘ上リ國書奉呈ノ為メ
謁見相願フ旨申出候ニ付八日寺島外務卿
横濱ニ於テ談判致シ候得共強テ申出ニ付
御聞取ニ為御通知旁及フ

伊藤博文文書

215830
昭和　年　月　日

六月十日　十一日午前八時四十分大分発
十一日午後一時四十分小倉着

香川大分知令

大久保

九ノ海陸軍進撃大勝利ニ終リ村田枠ノ方ニ敵走ス本日臼杵ノ方ニ火ノ手見エ臼杵地方ヲ恢復セラレタルベシ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

215830
40
昭和26年10月18日

六月十一日午後三時十五分　小倉発

内務卿

杉村権大書記官
香川大分県権令

一昨日ヨリ海陸ノ官軍臼杵ノ賊巣ヲ大攻撃ニ及ヒ遂ニ本日午前八時ニ至リ賊徒佐伯ヲ指シテ潰走セリ此際市中ハ大半兵火ニ罹レリ

215830
41
昭和26年10月18日

一 六月十日午後八時発
大江深田村ニテ
水俣 川路少将

出水ヲ襲フ為メ此地ノ兵ヲ三手ニ分チ
一ハ西面屋敷村ヨリ一ハ大関高寺ヨリ一ハ
北要鍋野ヨリス本日午前第四時ヨリ
戦ヒ六時ニ四辺ニ賊大ニ敗走兵ヲ出デ
禁リ占ム生擒若干分捕銃器其
外同断

国立国会図書館　伊藤博文関係文書(その1)書類の部 265

一　六月十三日午前二時卅分発

大久保参議

伊藤参議　　西郷中将

去ル九日十日両日ノ攻撃遂ニ牡丹社ヲ陥
ル残兵大敗佐久間左馬太ニ走ル即チ尾撃
中谷少将ハ千百掃蕩イヅミ
口ヨリ攻撃大勝利　楓港ヨリ来リ去リ生擒ス
婦分捕銃器モ四ナリト只今報シ来
ルト然ルニ本営ヨリノ報告

215830
42
昭和26年10月18日

伊藤博文文書

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

215830
昭和36年10月18日

六月十二日午前十一時十五分発
大久保参議　大隈参議
寺島参議ヘ批セシ民費賦課之
伺ハ至急ヲ要シ其筋速ニ御返ヲ
乞フ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

六月十二日午后二時十五分発

伊藤殿　山県

末松謙澄ヲ強テ使節ナクハ何
事ニ当地ヘ帰ル迄ニ下カル事出来ズヤ
出来ルナレハ誠ニ仕合スル事多シ勿論
当人ノ都合ハ存セヌ文エヘ宜ク願フ

右ハ至急ヲ要シ成ル丈速ニ[illegible]
寺島[illegible]ノ[illegible]貴[illegible]
大[illegible]殿　大隈[illegible]
六月十二日午前十時十五分発

215830
44
昭和[illegible]年10月[illegible]日

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

六月十三日午后五時四十分

大久保
伊藤

山口ニテ 品川大書記官

萩ニ開軍ヲ済マセ昨夜当地ニ帰ル

中部書記官モ来着ス同人ヘ法程ヲ

説告状拝読ス何モ昨今ニ協議之上

可成丈手段ヲ行フ可キ運ヒ一應

上京ナクシハ萬端報告直ニ此段伺フ

右ノ通指令セリ

貴地ノ都合次第一應上京スベシ

六月十三日午前十時

大隈重信

西郷伺之征討費四ヶ月間支出之儀目
下詮ヲ以テ院伺否ノ前兼知右ハ昨日
飛信ニテ三條公ヘ申上ケタリ最モ寺島参
議ヘ托シ西郷及ヒ田中ヘハ已ニ委細ノ趣
申達シ置キタリ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

六月十四日午前九時二十分発

大久保内務卿　川路少将

昨十三日第二旅團ト山野ヲ進撃ス同團ハ左翼ヨリ我團ハ右翼ヨリ午前第七時開戦旭嶽ノ近傍ニアル賊塁悉ク奪取リ續テ八時頃谷ヲ渉リコカワチノ前面ニアル岡ノ上ニ登リ背後ヨリ賊ヲ追散ラセシ営ニ火スル事十ケ所餘夫ヨリ山ノ町ニ打入ル既ニシテ第三旅團ノ兵来リコレト合シ賊ヲ大口街道ニ追撃ス拙者ハ山ノ郷ノ町近キ丘マテ出張シ兵ヲシテ山野ニ引揚ケタルヲ見テ帰ル帰途夜陰ニ及ヒコノツル村ニ泊ス

215830
48
昭和[illegible]年10月18日

本日望ノ杯ノ数十ケ所ノ相手ハ跡ヨリ

六月十四日午前九時三分

太政官

兵庫縣

硝石賣買運送ハ不苦ヤ至急御指令アリタシ

伊藤博文文書

215830
昭和2年1月18日

六月十四日午前十一時廿五分発

伊藤
大久保

西郷

川田ヲ御遣シニ相成リ今朝面會因州壮兵
之事篤ト相談セシ處コレヨリ上京一度
今井ト熟議ノ上重ネテ下官ヘ面會
之筈ニ約シタリ依テ川田上京スル迄テ
今井ヲ御地ヘ止留メ置カリタシ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書(その1)書類の部 265

215830
50
昭和　年10月18日

六月十四日十二時十五分発

三條殿　岩倉

去ル十一日ノ飛信ノ義落セリ御申越ノ毛利二人宍戸明十五日船ヨリ上京致ス

215830
51
昭和　年10月18日

六月十四日十二時十五分発

三條　巖倉

去ル十一日之飛信兼着セリ御申越シ毛利二人宍戸明十五日船ヨリ上京致ス

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

215830
52
昭和 年10月18日

六月十四日午後一時五十分發

大久保　西郷中将
伊藤　両参議

下ノ関屯在ノ旧近衛一中隊ト壮兵三中隊ヲ当所ヨリ船都合次第直ニ佐賀ノ関ニ向ケ上陸ノ上後路ノ官軍ニ会スヘキ旨相達タリ又下ノ関ヘハ当地ヨリ後備兵二中隊ヲ繰込ニ至ル筈ナリ此段御承知迄ニ申進ス

国立国会図書館　伊藤博文関係文書(その1)書類の部 265

六月十四日午後五時発 九時三十分来

伊藤参議 山縣参軍

縷々御細書ノ趣且ツ増田君事一々御伝言
巨細了承セリ中途ニシテ豊視像ヲ返ス
事ハ固ヨリ不好ニ非ズ滋理中
伊へ申出タル摂他国ニ事ニ付出兵ノ事
甚タ困難セシ所已ムヲ得サレハ二千人ニ過キ
ヲ先ヅ出シタラバ且ニ高時充分ニ所識ヲ
モデラベシト存ジヤ参ジタル事ハ深ク所察
考下サレタシ亦豊視像ヲ参遣ニ付テモ
不都合ハ無之御懸念ニ不及猶為ゝ揚ル事
ハ甚タ不宜此際ハ滋理ヨリモ御用向ト存ス

215830
64
昭和16年10月8日

此去旅團ニ人員ヲ増加スル事ハ出来難ニ
付而事山田ノ手ヲ離ルニ能ハザレハ云々ハ
此際強テ困リ兵団退職後背後ノ旅團
総テ山田ノ指揮ニ任セラレタレハナリ小保
キセニノ云々ニ至ツテハ自ラ職掌ノ分任アリ
軍事會議ノ議定書ノ細事ハ下官ニ
建議スルノ海軍川村ノ主任ニ而モ陸軍
團ニ何等ノ関係ヲ生ゼズ決シテ心配ニ
ハ及バズ

六月十五日午前六時五分

伊藤殿　赤松

何モ拝兼ス

国立国会図書館

国立国会図書館　伊藤博文関係文書(その1)書類の部 265

六月十六日午后二時廿五分

三條太政大臣　長崎縣令

当港ニ無営業ノ寄留人多ク
原籍十分取締ルヨリ印鑑之儀
伺ニ安全國ニ関シ不被行御見
込ナラハ御原清ツクモノ即今当港
警備ノ方法ハ電信ニ盡シガタキ
ユヘ書面ニテ申上ル

[illegible]

伺ニ拝承ス

伊藤　書記

松

六月十五日午前六時五分

六月十六日午後二時四十五分発

大久保参議　渡辺中佐
伊藤参議　海野中佐
西郷中将

山縣参軍ヨリ報知左ノ通　野崎中佐
堀江中佐ノ兵ハ去ル十三日佐泊ニ達シ同所ヲ占メ本営ヲユカキ村ニ置キ諸口ト申合セ日州口ニ進ムベシ又野津大佐ノ兵モ十三日重岡口進撃ノ筈ニ変賊三百人斗リ三國峠ノ本道ヨリ三重市口ヘ襲来我兵嶮ニ拠リ固守ス賊兵進ム不能十四日暁キ三時ヨリ我軍進撃中ナレ𪜈

215830
昭和　年10月18日

215830
57
昭和36年10月18日

未タ報知ナシ前条之通双方ヨリ報知有之候ニ付此段報知ニ及フ

六月十七日午後六時五十分発

大久保参議
伊藤参議

西郷中将

熊本小澤大佐ヨリ左ノ報知アリ十四日重岡街道ヘ進撃ノ筈之処前日午後賊城山ニ及神明谷ニ襲来十四日払暁賊退却ニ付中津ムレ口ハ鼻端ニ進ミ三国峠口ハアサウ山ニ進ミタレ圧時刻遅キヲ以テ戦ヲ止ム葛場口ハ葛場越ヲ左右ヨリ挾撃シ更ニ迂回兵ヲシテ其背後ニ出シ

メ射殺無数大勝ヲ得タリ十五日ハタガエ
シ三田井ノ両道ヨリ進撃三国ノ境山
ヲ攀ヒ賊塁ヲ距ル五百メイトルノ地ニ胸
壁ヲ築キ此地ヲ衛ルト野津大佐ヨリ
今朝報知アリ鹿児島ヨリ不絶往
復アレ𪜈異状ナシ

六月十八日午前四時五十分発

大久保内務卿殿　　川路利良

昨十七日出水出張ノ我兵二小隊阿久根
街道ヘ向ケ大斥候トシテ出張スル所
十時頃カミラシユ峠ヲヨコレ岡ニカヽリ
シニ賊凡二百余人塁ニ拠リテ大小
砲ヲ打掛ケニ付即時開戦賊ハ塁
ヲ棄テヽ遁ル我兵追撃臼砲一門

215830
昭和21年10月18日
国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

野戦砲二門弾薬一箱ヲ捕タリト只
今報知アリ

六月十八日午前九時八代発
大久保内務卿　川路少将

出水口賊ノ総指揮ヲナス伊集院四郎左衛門
宮ノ城ヨリ来リ我兵ニ帰順ス昨十七日拂
暁第三大隊二中隊ヲ率ヒ阿久根街道ニ
向ケ大斥候トシテ午前十時頃カガラシユ峠
ヲ越シ野田ニ掛ルニ賊二百名塁ヲ擁リ銃砲
ヲ打掛ケニ付即時奮戦賊立ドコロニ塁ヲ棄テ
逃我兵追撃臼砲一門野戦砲二門弾薬
一箱ヲ捕ヘ賊ハ田代ヘ逃去ル由ニ付追スシテ
引揚タリ

215830
昭和　年　月　日

国立国会図書館　伊藤博文関係文書(その1)書類の部 265

215830
60
昭和　年　月　日

六月十八日午前十一時二十五分発
同　十二時二十分来
大久保
伊藤　両参議　西郷中将
平安丸本日午後一時二十分へ向ケ出帆
之軍ニテ死久ル三月同知居へ河北
御用向義有之ハ其段近ク海軍
少将林コウエウヘ御達
有之べし

国立国会図書館　伊藤博文関係文書(その1)書類の部 265

215830
61
昭和57年10月16日

六月十八日午後三時三十分発

大久保
伊藤両参議

西郷中将

熊本小澤大佐より左ニ報知アリ

只今平佐大尉ヨリ左ニ通報アリ

十七日午前三時ヨリ濱返シニ國峠ハモ攻撃
三國峠ハ我軍勝利賊死骸ヲ棄テ走ル我兵
負傷一名小銃弾薬若干分捕アリ賊ハ三重街
道ニ逃去ル我軍尾撃スル濱返モ多分勝利
ノ由シト

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

215830
62
昭和26年10月15日

大正文庫

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

215830
60
昭和 年 月 日

六月十八日午後十一時四十分 川俣
大久保内務卿 川路少将
明日薩国本陣ヲ出水ノ麓ニ
移ス 水俣ハ三好少将ノ手ニテ持
ツヨウニナリタリ

国立国会図書館 伊藤博文関係文書(その1)書類の部 265

215830
64
昭和24年10月13日

六月十八日午後十一時四十分発

大久保内務卿

水俣

川路少将

本日暁當團壮兵二小隊ヲ以テ鹿児島街道野田郷ヘ進ミ候ニ賊兵凡三百計リ所町口ニ散布シ直チニ撃掛ケニ付我兵之ニ應シ暫時砲戦(賊)竟ニ潰散我兵追ヲ追テ阿久根手前ニ至リ午前ノ時頃ニ賊ヲ斃ス十余人分取リ銃器七八挺我兵死傷ナシ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

215830
66
昭和六年十月廿日

六月十九日午前十一時五分下ノ開廷

柳原議官

馬渕

河野幹事

下官昨日長崎ヨリ此地ニ来リ馬屋原ニ會シ斬罪二人徴役十年以下百五十三人擬律相濟ニ付下官ハ今夜ノ船ニテ長崎ニ歸リ馬屋原ハ刑名宣告ノタメ萩ニ至キ同所處分濟次第直チニ大阪ニ出張ノ筈此段太政大臣ノ具申アレ

六月十八日午前

215830
66
昭和　年10月5日

六月十九日午後三時十五分

三條太政大臣　岩倉右大臣

英国汽船インダンゴウ十三日横濱發
經神戸長崎ヨリ支那ニ至ラントス賊ノ
為ニ武器ヲ運送スルタメナラントノ説ア
ルニ付該主ヘ至テ可然報知スヘキ旨
在清国領事品川忠道ヘ達セリ依テ
此旨御心得迄ニ申進候

215830
67
昭和 年10月 日

六月十九日午後五時

大久保内務卿
伊藤

大坂
西郷中将

小沢大佐ヨリ左ノ報アリ　只今豊後出先
ヨリ左ノ通リノ報告アリ　去ル十七日午前
二時一中隊ヲ以テ三国峠ノ西面第一賊
塁ニ向ヒ一塁十二人ノ賊ヲ鏖ニス　又外ニ
数塁モ皆棄テ走ル　午前七時北ルヲ逐テ
小野市ニ入ル　我兵死者十二傷者二名
乃チ探偵斥候ヲ出シ将ニ全国ニ進
入セントスルニ賊千束川尻ノ市村ニテ我
兵ニ支ヘントス　乃チ重岡ヨリ一里許リ手前

国立国会図書館　伊藤博文関係文書(その1)書類の部 265

十九三條ニ警備ヲ十大

215830
68
昭和25年10月15日

六月廿日午后九時

大久保利通

川路

出張ノ賊六七百人ト云フ初メトシテ人員
六百余名陶取出テ迫テ我軍ニ
降伏ス

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

215830
昭和　年10月18日

六月廿五日午前十時三十分発

大久保
伊藤　　西郷

熊本小澤大佐ヨリ左ノ報アリ
出水ノ賊六小隊貫隊長ヲ始メ人員六百
名帰順ヲ乞ヒ進テ我軍門ニ降伏スト昨
廿四日川路少将ヨリ報知アリ
昨廿四日拂暁大口ニ向ヒ進撃一時頗ル苦
戦ノ処後ニ同所ヲ陥レ尚進撃ヲ一里
程前面ニ進ミ防禦線ヲ定ムト三浦少
将ヨリ報知アリ

215830
70
昭和57年10月5日

六月廿一日午前十一時半発

大久保

伊藤西条殿

西郷中将

今暁平安丸帰港セリ前野大尉伊與木警部ニ面會委細ノ様子承知セリ依テ伊与木等直ノ上京為致タルニ付委細同人ヨリ承知可然下官ノ上京ヲ須ルナリ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

六月廿二日午前十一時廿五分発

大久保内務卿宛　　川路

昨二十一日大斥候ヲ阿久根ヘ向ケ差出シ處ニ
賊塁ヲ行キ抜ケ先霧彼レヨリ発砲ヲセシニ付
我兵奮戦直ニ其塁ヲ乗ッ取リ賊ヲ斃ス六
七人賊死骸ヲ捨テ走ル又今廿一日阿久根進
撃ノ為メ先発中郷田ノ砲兵線マテ兵ヲ
進メ午前四時進発阿久根ノ手前本道並ニ
左翼ノ賊塁ヲ陥レ続テ阿久根ニ攻入ル一手
賊直ニ潰散西ノ方ヲ指テ走ル尾撃阿久根
ヲ過キル凡ソ一里ノ計ニ至リ賊往還ノ左右ノ山
ニ入リ防禦スルニ付又直ニ進ニテ之ヲ逐ヒ落セリ

生擒凡八九人賊ノ死骸十余ヲ捕砲二門
銃数十挺

六月廿二日午後二時十分山口発

太政大臣殿
内務卿殿

関口隆吉

萩暴徒ナホタワミチスケタナカエンスケ
今廿二日萩出張臨時裁判所ニ於テ
斬罪ノ宣告アリ処刑済ム此段申
届候

215830
72
昭和 年10月1日

215830
昭和　年　月　日

六月二十二日午后八時三十分発

三条太政大臣殿

山口県萩出張
臨時裁判所
一[illegible]書記官

本日午前四時ヨリ当県賊徒田中エニスイ
ヲホタワミチスケノ二名斬罪其以下
懲役十年一名七年一名五年二名三
年八名二年十四名一年二十五名百日
六十六名除族一名贖罪六名免罪
四十九名合セ百七十六名ヲ夫々処刑
相済タリ不取敢具陳ス

國立國會圖書館

国立国会図書館　伊藤博文関係文書(その1)書類の部 265

215830
昭和 年 月 日

六月二十日午後十一時八代發

大久保

昨日ヨシビ山ニ向ヒタル我兵午後四時頃ヨリ海リ宮ノ城ヲ攻撃ル分捕及ヒ死傷未タ審ナラス又阿久根ヨリ進ミシ一手ハ昨日一時ノ坂ヲ越ヘタリ川臺川ヲ海リシヤ否ヤ未タ報知ナシ此口ヨリ我手即死四名手負十八名アリ

川路

215830
26
昭和26年10月18日

六月廿三日午前二時三十五分

萩　馬屋原

三原

今朝当所死刑百七十名程呼出懲役五年一人二年一人一年六人百日一人除族一人宣告相済ミタリ

国立国会図書館

国立国会図書館　伊藤博文関係文書(その1)書類の部 265

215830
26
昭和　年10月8日

六月廿三日午前十時三十五分発

大久保

伊藤　西郷

去ル廿一日重岡攻撃ノ策ニ決シ其朝ニ至リ
賊退散之模様ニ付偵察差出シタルニ愈
廿日夜半ヨリ退散ノ由報知アリ依テ重
岡ニ操込志松峠ニ警備ス賊ハ延岡或ハ
クマタニ引去ルト野津大佐ヨリ報知アリト
熊本少澤大佐ヨリ報告

215830
77
昭和62年10月19日

六月廿三日午前十時三十五分發

大久保

伊藤

西郷中將

去ル廿一日重岡攻撃ノ賊退散ノ模様ニ付偵察差出シタル處
廿日夜半ヨリ退散ノ由報知アリ依テ重岡ニ繰込赤松峠ニ警備ス賊ハ延岡ヲ
「クマタ」ニ出去ルト野津大佐ヨリ報知アリ尚本ノ澤大佐ヨリノ報知

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

215830
28
昭和36年10月18日

六月廿三日午後三時ヨリ外務

伊藤
大久保両参議

西御中将

河野刀

片岡遠吉儀去ル十八日カワノヘ道寄
リ高知ヘ帰リタルトノ事丸亀ヨリ
所ヨリ報知アリ御心得迄申上ル

215830
昭和26年3月8日

六月廿三日午後十二時二十分

大久保

伊藤

西郷

陸軍事務所

無事小沢大佐ヨリノ報左ノ通川路ガ将ヨリ
左之報知アリ去ル廿二日ニ山ニ向ヒ川ヲ渉リテ
宮ノ城ヲ攻撃ルアクマニ向ヒタル一手ハ昨夜坂ヲ
越タリ川臺川ヲ越タルヤ否ヲス

215830
20
昭和○年10月18日

六月廿三日午後十二時五十五分發

大久保參議　河野書記官

昨夜岸良大捡事大分縣下賊徒取調ノ爲メ同地ニ向ケ出張セラル

太政官

六月廿三日午後十二時五十五分發

大久保參議　河野書記官

昨夜岸良大捡事大分縣下賊徒取調ノ爲メ同地ニ向ケ出張セラル

太政官

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

215830
B1
昭和24年10月18日

六月廿四日午前八時十五分

侍従次長

昨日サン殘カ殘ノ懲役百日ノ六十四名只今一所ニ相濟タリ

馬屋原書記官

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

215830
82
昭和21年10月15日

六月廿四日午前十一時廿五分

大久保　木梨精一郎

伊藤　佃基清

壮兵一大隊ニ満員セリ只今ハ臨戦ヲ為
サントス召募斯ク手間取タル譯ハ手續
ハ順序ト実地先后アツテ且壮健ナル者ヲ
撰ヒ一以テ十ニ充テンコヲ要セシ故ナリ
今ヨリハ手順モ續々相立マス此段上申ス

215830
昭和35年10月18日

廿四日午後一時五分

大久保参議

西郷中将

山口ヨリ遣申付タル一中隊昨夜十二時前豊浦出帆彼ノ地ニヨムキタル旨只今報知アリタリ此段報知致ス

六月廿四日午後十時三十分八代發

大久保内務卿　川路

廿一日河股根ヲ蹈ミタル一手ハ追撃スル丁八里ニシテ川邊川ニ至リシニ賊橋ヲ燒落シ頻リニ大小砲ヲ發射ス我兵川ヲ渉リ不得ヲ以テ猥リニ發砲セス廿二日迄對岸ニ待ス廿三日ジンデンハ[illegible]ヨリ八丁計水下モノ淺瀬ヲ渉リ何レモ半身水ニ浸セ川向ニアル賊ノ横合亦ハ脊後ニ出テ攻撃ス賊大ニ狼狽壘ヲ捨テ逃去ル其死傷數不知臼砲二門四斤半砲一門四ツ目銃二門ヲ捕ル其他[illegible]火繩筒[illegible]等ハ數知レス

215830
昭和36年10月18日

六月廿四日午後十二時四十分

三條太政大臣

河野幹事

大分縣賊徒取調ノ為メ同縣下へ當裁判出張所ヲ開設ス此段上申ス

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

215830
86
昭和　年10月　日

只今中村大書記官ヨリ左之通電報有
之候間御稟知仕候也
但京都府知事エハ相達申候也
十年二月廿五日　大久保内務卿
三條太政大臣殿
伊藤参議殿

中村大書記官ヨリ之電報写
捕縛セシ者午后十二時十分之汽車ニテ
護送ノ筈ニ付京都停車場ニテ請取ノ
手筈同府知事エ御達アリタシ

内務省

国立国会図書館　伊藤博文関係文書(その1)書類の部 265

215330
昭和 年 月 日

六月廿五日

杜南出張ノ命ヲ
出立ス

杉方大輔

215830
昭和2?年10月?日

六月廿五日午後一時二十五分発

三條太政大臣　河野敏鎌

山口県出張臨時裁判所廿四日限り

引拂申スニ付此段御届ニ及フ

国立国会図書館（印）

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

215830
8P
昭和　年　月　日

六月廿五日午後一時五十分八代発

薩州宮ノ城　川路少将

今廿四日朝入来（イリキ）ノ手ニテ賊塁ヲ抜キ
夫ヨリ入来ヲ経笹ノ谷ヲ占メタリ又一ノ手
ハ（八エノ山）ニ登リ両所共鹿児島ヲ眼下ニ
見下セリ鹿児島エハ五里計ナリ宮ノ城ハ
紫尾山ノ険アリ一時粮米運輸ニ苦ムト
雖モ今捕米千八百俵アリ

215830
昭和　年　月　日

六月廿五日午後八時五十分発

大久保
伊藤　両参議　西郷中将

玄武丸出帆ハ明後廿七日ト決ス時刻ハ猶後ヨリ御報知致スベシ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 265

二、経
大久保
伊藤

六月廿五日午後十二時五十分

大久保
伊藤

西郷

熊本及ヒ豊後地方ノ景況ハ不絶
委細ニ申来レ𪜈近頃鹿児島ノ
景況更ニ相ワカラザルニ付玄武丸
ヲ一度彼地ヘ遣リ事情ヲ尋ネ度
存ズ御用ノ都合モアラバ差遣ス事ニ
決スベシ御所存一ニ応シ御回答ニ及フ

215830
P2
昭和26年10月18日

六月廿六日午前十時五十五分發

大久保　木梨

伊藤　畑

壮兵一大隊ハ昨日迄ニ全ク編成セリ今ヨリ猶一大隊召募ヲナシヿヲ西郷ドノヘ伺ヘリ今後地方ニ差障ナキヿナレハ猶三大隊編成相成テモ可然儀ト考ヘラレリ右来ノ件都合豫奉伺候何分ノ御指揮伏而待ツ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書(その1)書類の部 265

215830
ヲ3
昭和61年10月18日

六月廿六日午後五時ヲ期シ

川筋ヲ以テ

今廿五日ヨリ入来ニ轉陣ス

215830
昭和26年10月18日

六月廿七日午前九時二十五分発

三條太政大臣殿　　川村参議

廿三日ヒゲトミヨリ兵ヲ廻シ礒山ノ賊ヲ衝キ
廿四日又タケ村ノ賊ヲ追拂フ廿五日川
路大将ノ手ヨリ一大隊当地ニ達ス全ク
タケ村ノ戦ヒ賊力ヲ此手ニ尽セシヨリ整
殺隊モ無事ニ着セリ廿六日高地ノ塁初
隊ニ大隊ヲ宮ノ城川路ノ方ヘ出シ四人ノ